

## 学会通信 (二〇〇六年一月～二〇〇六年七月)

### 一、学会活動

現代中国学会主催講演会

七月二日「沖縄の中の東アジア」又吉盛清(沖縄大学教授)

### 二、学会員活動

今井理之「中国における日米企業の競争激化」(「日米経済関係

論」勁草書房、二〇〇六年四月)

河辺一郎「日本の外交は国民に何を隠しているのか」(集英社新

書、四月)、「度重なる判断ミス」評価以前の小泉外交」(「軍縮

問題資料」二〇〇六年四月号)、「リベラルの会政策提言案につ

いて」(講演、民主党リベラルの会研究会、於衆議院第二議員

会館、三月二九日)

黄 英哲「一九五〇年代台湾の『国語』運動—中国共産党の『漢

語規範化』運動を視野に入れて」(「関西大学中国文学会紀要」

第二十七号、三月)、「台湾文学与東亞現代文学」(講演、台

湾・清華大学台湾文学研究所、五月三日)

高 明潔「中国におけるイスラーム教の空間構築とムスリムの多

層意識—回族清真寺とインタビュを中心に」(「イスラームに

おける中国—現代イスラームの秩序認識とその中国理解の複合

的構造研究」平成十五年度～十六年度文部科学省科学研究費補

助金基盤研究(C)研究成果報告書、六月)

馬場 毅「一九三〇年山東省博山県の黄沙会の擾乱について」

(「愛知大学国際問題研究所紀要」第二十七号、三月)、「華北に

おける中央の軍事活動、一九三九—一九四五—山東抗日根拠地

を例として」(波多野澄雄・戸部良一編「日中戦争の国際共同

研究2 日中戦争の軍事的展開」慶応義塾大学出版会、四月)

湯 昭室「『経済大国』論は誤り」(日本経済新聞経済教室欄、五

月二三日)

松岡正子「川西南の『西番』における民族識別(2)―西番族の歴史

の記憶」(「愛知大学国際問題研究所紀要」第二十七号、三月)

## 中国21 Vol.26 予告(06年11月刊行予定)

### 特集●中国農業の基幹問題

本号は、中国の農民・農業・農村の現状と問題点を広角的に捉え、課題をあぶり出し、解決の方向を探るために企画した。中国政府は第十五期五カ年規劃で農業税を免除するなど農業政策の改善に乗り出したが、中国農業の諸問題はあまりにも大きく、そして根深い。農業部門と第二次、第三次産業間の発展格差はさらに拡大する可能性もある。中国にクズネツ理論が当てはまるかどうか分らないが、その可能性は、現状を見る限り少ないのではないだろうか。

個々の論文テーマの範囲を広くし、できるだけさまざまな内容を織り込めるよう努めた。執筆陣にもそれが反映されていると思う。

また、時事的問題として、日中関係の行政、政治上の豊かなご経験を踏まえ、マスメディア等を通じ、積極的な発言をしておられる加藤紘一衆議院議員にもご登場いただいた。本号に、錦上花を添えることができたと思う。

#### 〈執筆予定陣〉

【論説】青柳齊、大島一二、胡柏、章政、嚴善平、張玉林、塚本隆敏、中兼和津次、姚洋、吉田義明(以上五十音順)、高橋五郎  
【書評】安田淳／「天南地北」海老名敏広 ほか